

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
くまもと芦北通園センター		2026年 3月 31日					
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10/10 100%	0/10 0%		多機能型であるため、児童・放課後デイサービス・生活介護の利用者が混在	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8/10 80%	2/10 20%		送迎等へ行き、スタッフ数が少ない時がある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8/10 80%	2/10 20%	療育活動を行う室内に仕切りは無いため、必要な場合は、スクリーンや寝台などでエリアを分けている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9/10 90%	1/10 10%		児童に対して、トイレや手洗い場は、成人対応の高さとなっている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5/10 50%	5/10 50%	1つのスペースなので、空間を仕切る際は、つい立やカーテンを使用している	個別に関わりを行う部屋が無い	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9/10 90%	1/10 10%	振り返りは、事故・ひやりはつなどの問題があった際は、その都度実施		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10/10 100%	0/10 0%	保護者へのアンケートを実施 問題が生じた場合は、改善についての話し合いを実施		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10/10 100%	0/10 0%			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9/10 90%	1/10 10%	第三者評価実施なし 指導監査や集団指導の内容を確認し改善が必要な項目があれば検討している		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9/10 90%	1/10 10%			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8/10 80%	2/10 20%	5領域とのつながりを明確にした支援プログラムの作成・公表を行っている	生活介護のご利用者も同室であるため、個性がない	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10/10 100%	0/10 0%	ご利用者1人に対して、6ヶ月毎に取り組みや関わりに関する支援会議を実施		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10/10 100%	0/10 0%	支援会議には、児発管と個人担当の他に当日参加可能なスタッフは全員参加 多くのスタッフが支援会議に参加できるように、会議の時間を工夫し実施している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9/10 90%	1/10 10%	支援会議で、取り組みや情報の共有を行っており、スタッフ間で周知できている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9/10 90%	1/10 10%	アセスメントシートは、事業所オリジナルの様式を作成し、医療面も含めた情報を記載		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10/10 100%	0/10 0%	個別支援計画の支援目標や内容は、「本人支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」に分けて立案		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9/10 90%	1/10 10%			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9/10 90%	1/10 10%			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9/10 90%	1/10 10%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9/10 90%	1/10 10%	前日の夕方に終礼として、翌日の予定を確認し、当日の朝に利用の確認などを実施	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9/10 90%	1/10 10%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9/10 90%	1/10 10%		生活介護の方と同じ時間過ごす事が多いため、個性が見いだせない
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9/10 90%	1/10 10%		生活介護の方と同じ時間過ごす事が多いため、個性が見いだせない
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9/10 90%	1/10 10%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9/10 90%	1/10 10%		話し合いを行うことはできているが、直接支援には繋がらないケースがある
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10/10 100%	0/10 0%	担当者会議やモニタリング会議などには、児発管または個人担当のスタッフが出席	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9/10 90%	1/10 10%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9/10 90%	1/10 10%		定期的に行われていないケースもある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8/10 80%	2/10 20%		ケースが少ないため、情報共有ができない場合もある
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9/10 90%	1/10 10%		ケースが少ないため、情報共有ができない場合もある
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7/10 70%	3/10 30%		あまり要望が無い
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2/10 20%	8/10 80%		できていない 現在、行われていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10/10 100%	0/10 0%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9/10 90%	1/10 10%		こどもと保護者との話し合いよりも、周知が多く終了してしまうケースが多い
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5/10 50%	5/10 50%		ペアレントトレーニングができていない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9/10 90%	1/10 10%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9/10 90%	1/10 10%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9/10 90%	1/10 10%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10/10 100%	0/10 0%		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7/10 70%	3/10 30%		今年度は、久しぶりのバスハイクを計画し実施 きょうだい同士の交流の場は現在行っていない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10/10 100%	0/10 0%	苦情・要望があった際は、当日の夕方の終礼時に話し合いを実施し、可能な対応についての検討を行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10/10 100%	0/10 0%	年3～4回の季刊誌を発行 保護者の会のグループラインに入り、活動などで撮影した写真を家族へ配布	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10/10 100%	0/10 0%	アセスメントシートや個人情報、事業所外への持ち出しを禁止している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8/10 80%	2/10 20%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5/10 50%	5/10 50%		コロナ禍以降は外部を招待した行事の実施無し 現在も感染予防として、実施を控えている
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8/10 80%	2/10 20%	策定し周知できている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8/10 80%	2/10 20%	防災訓練・避難訓練を年1回以上実施 緊急時対応訓練を年1回以上実施	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8/10 80%	2/10 20%	アセスメントシートにて内服薬やてんかん発作などの情報を把握	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9/10 90%	1/10 10%	事業所利用（契約）前には、医師の診察を受けて頂いており、アレルギー面では、食物だけでなく薬のアレルギーも確認している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10/10 100%	0/10 0%	母体の安全管理委員会の会議に出席し、安全対策についての情報収集と管理を実施	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8/10 80%	2/10 20%	車椅子乗車時（安全ベルト）や送迎車輛乗車時のシートベルト、排泄時の安全ベルトなどについての安全対策を実施し、家族へ周知	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9/10 90%	1/10 10%	ヒヤリハットの事例があれば、当日または翌日には事例の報告と対策を検討	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9/10 90%	1/10 10%	母体の虐待防止委員会の会議に参加	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9/10 90%	1/10 10%	身体拘束については、6ヶ月毎の支援会議で検討しており、対策が必要であれば個別支援計画に内容を記載し家族に承認を得ている		